

わたしの抱負

議員の皆さんに
今任期中の抱負を
伺いました。

次期へ向けて



東海林孝一郎(72)
当選 3回

就任三期目に当たって、無風
当選の空しさを更に強く感じて
おります。

議会の定数削減・報酬の引下
げ等、原因は何なのか、再度の
見直しが必要かもしれません
町の活性化を今一度、強く望む
ものであります。

そこで、三つの提案です。
まず一つは「夢を持つこと」。
私の元の職業柄、青少年に限ら
ず、中高年の方にも目先に拘ら
ず夢を抱き、決して諦めずその
現実に邁進することです。

二つ目は「挑戦者(チャレン
ジャー)になること」です。北
国に育つ我々はどんな苦難にも
勝つ健全な精神を持ち合わせて
いるはずで、踏まれても雑草
の如く生き返る精神こそ、肝要
だと思います。

そして三つ目は「実践・実行
すること」。夢・挑戦を無にし
ないことが実践・実行です。不
平・不満より率先です。迷いは
全て「マイナス」、前進こそ「プ
ラス」です。

最後に贈る言葉、
「中高年よ、大志を抱け!!」
今期も頑張らせていただきます。

優しい町づくりを 目指して



向井勝広(50)
当選 3回

東日本大震災の被害に遭われ
ました皆様に、心よりお見舞い
申し上げます。

地域の中で、子ども達の姿が
少なくなつて寂しく感じている
のは私だけでしょうか。

子どもがいて、若者がいて、
大人と共に社会が構成されます。
子育て支援や学童保育の充実・
学校環境の整備を推進していき
ます。

また、豊かな自然と共生して、
高齢者の方が安心して老後の生
活が過ごせるように、福祉施策
の中で地域に根ざした町内会単
位での「ふれあいネットワーク
づくり」等を目標にしたいと考
えています。

優しい町づくりを目指して、
政策決定の場を与えて下さった
皆様に感謝し、これからの議会
に臨んでいきたいと考えていま
す。

健やかに育ち、そしてふ れあいの町にするため



村井フミ子(67)
当選 1回

超少子化、超高齢化が著しい
この町の子育て支援対策はス
タートしたばかりです。女性の
目線で見ると真の子育て支援の
アイデアは、母と子の日常対話の
中に秘められているのかも知れ
ません。

私もお母さん方と同じ目線で、
これからを見つめて行きたいと
思いますので、宜しく願いま
す。

この地を安住の地と定めた多
くの高齢者、日常生活がある程
度可能な方々が自由で、うるお
いのある老後が送れるよう「ケ
アホーム」などの課題に取り組
み、その実現に向け努力しま
います。

皆さんと喜びを分かち合える
町づくりに、一生懸命頑張ら
す。

「自助・共助・公助」 の町づくり



藤田 貢(55)
当選 4回

議員定数が8名となり議員一
人一人の役割や責任が大変大き
くなってまいります。また、少子
高齢化が進み高齢化率が35%に
なっている当町において、財政
運営に必要な財源確保が困難な
状況を見据えた中で、住民と行
政の間に立つ議会の役割はこれ
まで以上に極めて重要になって
まいります。

町長の手腕を最大限に発揮さ
せることができるのも議員とし
ての役割であり、野党的な立場
に立ち一期目の謙虚な気持ちを
忘れず、3期12年間の経験を生
かし、活発な質疑や政策論争を
行うことがこれからの議会活動
で大事なことだと思います。

そして今、最も重要だと考え
るのは補完性の原理です。「自
助・共助・公助」、このことを
幅広く町民に理解いただき、住
民・議会・行政が一体となった
町づくりに向け、努力したい。